

GEN なんでも勉強会オンライン 京都西山へっぼこ猟師のものとり話

～ 開催要項 ～

昨年8月のGENなんでも勉強会では京大芦生研究林のシカ害について学びました。農業への獣による被害をニュースなどで目にする機会も多くあります。

一方でジビエや狩猟女子などといった言葉がトレンドに上がるようになってきました。

狩猟の実際のようなすを、会社勤めのかたわら狩猟免許を取得して京都で狩猟を続けておられる稲垣文拓さんにお話しいただきます。

日時	2023年4月19日(水) 19時～20時30分ごろ
場所	ウェブ会議システム Zoom
講師	稲垣文拓さん (GEN 会員)
参加費	無料
定員	100名

～ 開催記録 ～

参加人数	22名
------	-----

稲垣さんは猟そのものに関心があって猟を始めたのではないそうです。「美味しいものは自分で作る！」と始めた田んぼの稲穂が全部見事にシカにかじられ、移り住んだ京都西山のご近所さん(高齢者多し)もみなさん獣害に困っておられる。ネットにからんで死んだシカの処理を猟友会に頼んだことがきっかけで、自分もやってみようと思われ始めました。わな猟と、装薬銃をつかえる第一種免許を取得、会社勤めのかたわら2頭の愛犬とともに猟に従事しておられます。

意外だったのは猟に関心がある若い人がそれなりにいるということ。ただし体験してみても、安定的な収入が保障されるわけでもなく、また、「思ったのと違う」こともあり、続ける人は多くないそうです。先日山焼きの技術が失われているという話をうかがいましたが、猟も同様、高齢の

猟師がもつノウハウを受け継ぐべき人があまりに少なく、継承が危ぶまれるとのこと。それでも、稲垣さんが思い描く未来には希望があることが印象的でした。

画像左下写真の真ん中の食事の材料は、すべてお住まいから半径5km以内でとれたものとか。手間もひまもかかるけれど、暮らしを営むというのはこういうことなんだなと考えさせられました。



GEN 自然と親しむ会 前中代表と歩く野の道シリーズ 17 春の大仙公園を歩く

～ 開催要項 ～

前中代表と歩く野の道シリーズは、歩きやすく平坦な道を歩き、おもに植物の自然観察を楽しむ会です。

今回は堺市にある大仙公園を訪れます。大仙公園は、仁徳天皇陵古墳と履中天皇陵古墳の間にひろがる緑と歴史にかこまれた公園です。

4月の大仙公園で自然観察を楽しみませんか。園内にある日本庭園も訪れる予定です。

日時	2023年4月15日（土）10時～15時ごろ
場所	大仙公園（堺市堺区）
案内	前中久行さん（GEN代表）
参加費	700円（保険料を含む。別途日本庭園の入園料大人200円が必要です）
定員	20名
持ちもの	歩きやすい服装と靴、弁当、飲みもの、敷物、帽子
備考	少雨決行 コロナ対策の上おこないますが、状況により変更・中止の可能性ががあります。

～ 開催記録 ～

参加人数	雨天のため中止
------	---------